

○ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座)：13時半～15時

原則毎月28日 (28日が土・日に当たる場合は直前の金曜日) に、
毎回「テーマ」を設けて、皆で座談する形式で開催しています。

1月28日 (火) 「理想の死に方とは？」

※3月は春季被岸会法要があるので休みします。

○ テンプルモーニング：毎月第1土曜日7時30分～8時30分

朝のお寺でお掃除するだけの、のんびりした時間を持ちませんか？

○ 死別の分かちあいの集い(予約・参加費不要)：13時～15時

・夫：毎月第1土曜日 (1/4、2/1、3/7、4/4)

・自死：毎月最終土曜日 (12/28、1/25、2/29、3/28)

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

○ にこにこカフェ：毎月第1月曜日 13時30分～15時

お茶を片手に、談話や体操・脳トレ・ゲーム・レクリエーションなど、お楽しみ
色々です。タオル・500mlの空ペットボトル・参加費300円をご持参ください。
このカフェは「いきいきポイント」対象となりますので、振るってご参加ください。

なお1月6日は超覚寺住職の法話会になります。

○ ペットロスの分かちあいの集い：12月28日10時～12時
○ 臨床宗教師(僧侶)との茶話会：12月25日15時～17時

12月は新しい会を2つ開催します。ペットを亡くした方々の分かちあい
と、お坊さんといろいろ話したい方々の集いです。

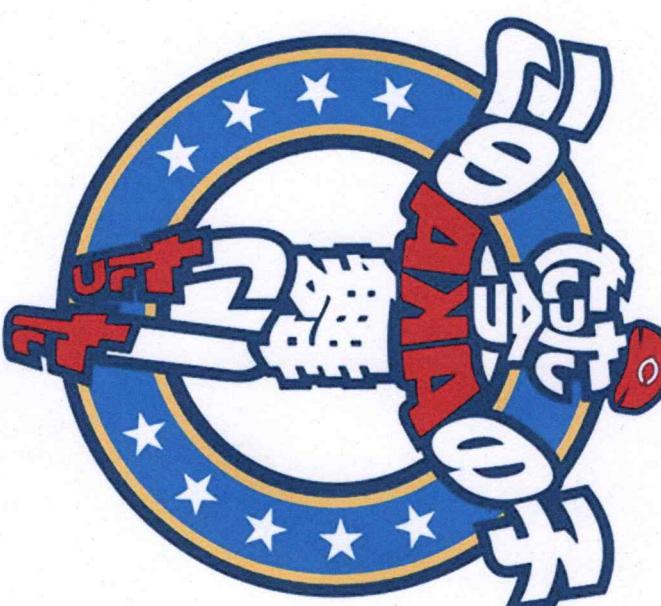
◇ 報告・連絡・“僧”談

2020年も、例年通り超覚寺門徒のマツダスタジアム団体観戦を予定して
います。2019年は1回しか取れなかったので、その轍を踏まぬよう幅広く予
約よう思います。皆さんもご希望の対戦があれば一緒に申し込みますので、
どうぞお寺までお気軽にお問い合わせください。

発行人：超覚寺住職 粥隆恩(和田隆彦) (*--*)人 i～合掌

2019年12月歳末 超覚寺報 第40号

【ハーフ堀だより】



浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)

林鷲山 懿西院 超覚寺

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI

(since 14 厉 2162, 西暦 1619, 元和 5)

〒730-0013 広島県広島市中区ハーフ堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>

超覚寺 冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりのこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
御参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<――>

◎ 2020年修正会法要

一年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥陀さまにご挨拶申し上げましよう。住職が約10分ほど勤行・法話を勤めますので、新年のお墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。
『門松や冥土の旅の一里塚 めでたくもありめでたくもなし（一休宗純）』

◎ 2020年春季彼岸会法要

3月21日(土) 13時~ 勤行:住職
13時30分~(休憩)~15時30分

高座説教:祖父江佳乃師

今年も名古屋市のある隣寺住職、祖父江佳乃師にご出講いただきます。

☆ お仏壇(お内仮)考

生活様式や住宅間取りの変化により、昔ながらのお仏壇は維持し難くなり、お仏壇そのものを設置しないお宅が増えてきました。引っ越しでお仏壇を手放すお宅もあります。また独立したお子さんが新たにお仏壇を設けるお宅も、ほぼいらっしゃいません。そのような方々に向けて、東本願寺では右記の『額装御本尊』を新たにご用意しました。関心のある方は、どうぞお寺までお気軽にお問い合わせください。



◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

[ゆうちょ銀行 15190-55770601]

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込む際は次の内容をご指定ください。

[店名]五一八 [店番]518 (普通) 5577060

御自身のお名前を入力せずに振り込まれる方がいらっしゃいます。
お心当たりの方は超覚寺まで御連絡ください。

③12/1『八丁堀落語会』

終活セミナーの後に開催しました。広島在住のタレント井上恵津子さんは「松山鏡」、夫の中島尚樹さんは「動物園」、広島テレビの森アウンサーは「看板のピン」を演じくださいました。さすがは皆さん話芸のプロ! 玄人はだしの、しかも古典の落語を披露くださいり、本堂内が大爆笑の渦でした。

合間合間にその落語の解説も話してくださいり、落語初心者にもその世界観にされるよう導いてくださったことも、より一層面白く感じた一因でした。



◇ “寺”後報告

①11/9『超覚寺報恩講』

愛知県安城市本證寺住職の
小山興圓師による絵解き法話は、
「親鸞聖人絵伝絵解き」と
「熊野觀心十界曼荼羅絵解き」
の2本立てでした。

大掛け軸やプロジェクトを使用

しての法話は、師の話術と相まって
とても面白く分かりやすかったです。

今年は25名のお参りでした。

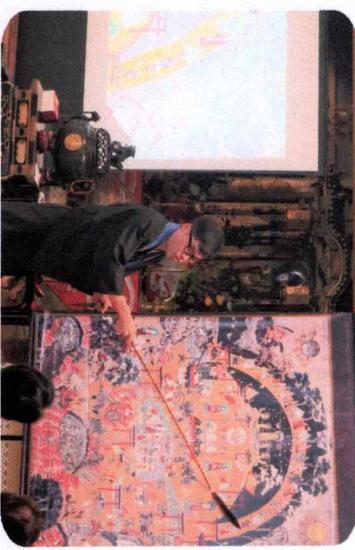
今年から精進料理は業務用の
容器に盛り付けましたので、お脣
で退席される方や残される方にも
お持ち帰れるようになりました。

②12/1『終活セミナー』

今回も超覚寺門信徒の行政書士の岡村奈七江さんをお招きし、超・長寿時代
の理想の生き方・老い方についてお教えいただきました。今回は昨年の倍以上の方
が参加くださいました。オリジナルのエンディングノートも好評でした。

本堂内に棺を
設置していて、

納棺体験も
好評でした。
自分の死を
考ることが年々
タブー視されなく
なってきました。



◎ 2020（令和2）年の法要日程予定

・1月1日(水・祝)

修正会 6時・8時・10時・12時

・3月21日(土)

春季彼岸会(+高座説教) 13時~

・4月11日(土)

花まつり(駅尊降誕会) 10時~

・8月6日(木)・9日(日)

盂蘭盆会 10時

・9月19日(土)

秋季彼岸会 13時~

・11月7日(土)

報恩講(+御絵伝) 10時~

・12月5日(土)

駅尊成道会(+永代経法要) 13時~

・12月某日

八丁堀落語会

◆ 2020（令和2）年の御法事をご確認ください。

・2019(令和元)年 : 1周忌 2018(平成30)年 : 3回忌

・2014(平成26)年 : 7回忌 2008(平成20)年 : 13回忌

・2004(平成16)年 : 17回忌 1996(平成8)年 : 25回忌

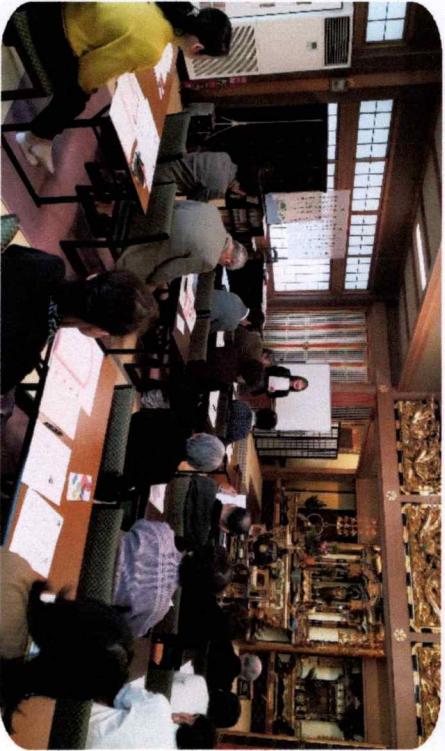
・1988(昭和63)年 : 33回忌 1971(昭和46)年 : 50回忌

お勤めはお寺でも御自宅でも大丈夫です。希望日時をお早めに御連絡ください。念のため、境内墓地通路脇の案内板にも該当者名を掲示しています。

◆ 2020年に慶事のある方がおられましたら、お知らせください。

成人式を迎える方、結婚される方、出産される方へ、東本願寺からの
お祝いとして、記念品(お念珠)を授与いたします。

この慶事を機縁として、お仏壇や本堂の仏様へのお参りや、ご先祖さま
へのお墓参りが報恩謝徳であること、お念珠を把持することの大切さ等を
お伝えしたいと思います。どうぞ、いつでもお申し出ください。



◇【ローマ教皇訪日】

令和元年11月下旬、カトリックのフランシスコ教皇が来日し、長崎と広島でメッセージを述べられた。新聞やテレビ、ネットニュースの情報しか持ち合わせていないが、短期間ながら教皇としての存在感をしっかりと示されたと思う。

長崎では、「世界では何百万という子どもや家族が、人間以下の生活を強いられているにもかかわらず、武器の製造や商いに多大の財が費やされ、その武器は日ごとに破壊的になっている。これは途方もないテロだ」と。広島では、「大勢の人が、その夢と希望の一瞬の閃光と炎によって跡形もなく消され、影と沈黙だけが残った。その沈黙の淵から、生き人々のすさまじい叫び声が聞こえてくる。様々な場所から集まり、それぞれ名を持ち、なかには異なる言語を話す人々もいた。私は、声を発しても耳を貸してもらえない人々の声になりたいと思う」と話された。

「声を発しても耳を貸してもらえない人々」という言葉に、建物疎開のために早朝より家を出て市電に乗り、指定された家屋に着いた多くの生徒たちがいたことに想いを馳せた。解体作業に入る前のひと時、友だち同士で「今日も暑いね」「いつまでこの仕事続くんやろか」「真っ青な空やなあ」「今日のお弁当は自分で作ったんや」「映画でも観に行きたいなあ」などと、いつものやつたわいもない話をしていたらしく、空襲警報も鳴らないのに、1機の飛行機が飛んできて、何気なく見上げたその時、目もくらやむ光が炸裂し一瞬にして消えてしまったのだ。その消えてしまった子どもを探して何日も街中を歩いたことによって、被曝して喀血して亡くなられた親きようだが、また大勢いた。

長崎ではあいにくの大雪だったが、教皇は長い時間静かに祈りを捧げておられた。広島では一般のセダンのマツダ車で移動されていた。その姿に、誠実さ、謙虚さ・優しさ・温かみなどを感じた人もおられただろう。

近ごろ、権勢欲が強く我執に満ちた人間が指導者に就いている例が多く、心優しい“声を発しても耳を貸してもらえない”何億という人が棲んでいる。建物疎開に動員され消えてしまった若きいのちの声に、しっかり耳を傾けねばと思つたローマ教皇の訪日だった。（大阪市浄滿寺寺報より加筆転載）

◇【環境問題】

2019年は新しい元号「令和」に代わった年でもあったが、いろいろな分野において問われる時代に入ったように思える。取り分け環境問題から目を背ける訳にはいかない。我々が住んでいる地球の自然環境を壊すということは、他の生き物が生きてゆけないだけでは終わらない。人間も脅かされているのだ。

そんな中、9月23日、国連の「気候行動サミット」で、スウェーデンのグレタ・トゥンベリさん(16)が演説した肉声には鳥肌が立った。演説の中身は、「私たちは絶滅に差し掛かっているのに、あなたたちが話すのは、お金と永遠の経済成長というおとぎ話だけ。若者たちは、あなたたちの裏切り行為に気づき始めている。あなたたちを注視している。私たちを失望させる選択をすれば、決して許さない」この少女の言葉を聞いた人の中には、「そんなキレイ事を言つても、経済が止まつたら今のような便利な生活を保つことはできない。詭弁だ」という人もいる。しかし、超覚寺境内でも蟻や毛虫を見ることが数年前から少なくなっていて不気味に感じるし、気候も異常気象という声が年々大きくなっている。巨大化する台風や頻発するゲリラ豪雨は、毎年場所を変えてやってくる。

温暖化の原因とされている二酸化炭素CO₂の排出量は330億トンを超えて、地球の浄化能力の限界を大きく超えている。そんな中、グレタ・トゥンベリさんの演説を機に世界中の(特に10代の)若者が立ち上がり、抗議のデモを繰り広げ始めた。「未来に夢を持って勉学に励んできたのに、その未来が無い世界は嫌だ！」と。誹謗中傷の様相はながら世代間のケンカのようだが、こんな環境にした我々大人は誰一人無関係・無責任ではない。もう待つた無しだ。

◇【超覚寺来歴】

今回ご門徒の皆さま宛に同封しましたのは、超覚寺の400年史の冊子です。お寺の総門徒過去帳は、戦時中は総代宅に疎開していたので、被爆を待逃れて全て無事でした。そこには歴代住職の日記的な記述もあり、そのおかげで超覚寺の歴史がほぼ把握できました。それを基に編纂したのが同封した冊子です。どうぞ高覧ください。